



雪にも負けず!

## コンクリート打設を行うための 仮設備設置工事が始まりました。

右岸に設置されたケーブルクレーンの支柱

足羽川ダムでは令和4年度中に、固い岩盤まで掘る基礎掘削工事を終え、堤体のコンクリート打設に移行する予定です。それに合わせて現在コンクリートの製造設備の準備を進めています。  
ダムサイトの両岸には、コンクリートバケットを運ぶケーブルクレーンの支柱が設置されました。ダム堤体の上流には、コンクリートの材料をつくる骨材製造設備の基礎工事も始まっています。  
雪で県道は通行止めとなっていますが、厳冬の中、着々と工事の準備を進めています。



右岸にケーブルクレーンの支柱が登場。



積雪で掘削された山肌部分は真っ白に。約1.5mの雪が積もりました。

### 足羽川ダム本体建設工事の進捗状況



いまはここ!  
令和4年3月

#### 1 伐採



建設予定地の立木の伐採。終了しました。

#### 2 仮設備設置



積雪の中、骨材プラント設備工事に入っています。(裏面をご覧ください)

#### 3 基礎掘削



固い岩盤までの掘削と水漏れ防止工事を行います。

#### 4 堤体打設



コンクリートでダム堤体や管理設備をつくる工事を行います。(参考川上ダム)

#### 5 試験湛水



運用前にダム湖に水を貯め、正常に機能するか確認します。(参考大滝ダム)

### 基礎掘削岩盤確認

現在の工事状況

設計された強度の岩盤が出現するか、岩盤検査で確認しています。



### 左岸造成アバット

ダム本体端部に設置するコンクリート部分が造成アバットです。人工的にコンクリートの岩盤を造ることで土の掘削量を減らし、ダム本体の堆積も小さくすることが可能となりコスト軽減及び環境負荷軽減につながります。



詳しく足羽川ダムの事業進捗を知りたい方はここまで!

足羽川ダム 事業の進捗状況

検索

channel Asuwagawa

足羽川ダム工事現場の動画がご覧いただけます!

足羽川ダム YouTube

検索

足羽川ダム事業進捗

channel Asuwagawa



# 骨材製造設備設置のための準備が始まっています。

## 骨材製造設備

骨材(こつざい)とは、コンクリート等を造るために、セメントや水など主原料と混ぜ合わせる、砂、砕砂、砂利、砕石などの総称です。

この場所で、ダム本体のコンクリート打設に必要な骨材を製造し、ダムの天端まで約1.5kmのベルトコンベアで運搬する計画です。現在は、その基礎工事を併行して進めています。



## 骨材採取調査(調査横坑)

近年のダム工事はダム本体のコンクリートのもとになる骨材を現地の山(原石山)から調達します。

原石山に「横坑」を掘り、どの程度骨材として利用できるか地質確認を行いました。

原石山は3つの山を掘削予定です。原石山で利用した後に中腹に付替町道を施工します。



## 足羽川ダムトピックス

## 付替県道11号橋 完成間近!

令和3年4月



令和3年8月



令和3年12月



### 橋梁諸元

構造形式	
PC3 径間連続ラーメン箱桁橋	
橋長	全幅
210m	7.7m
高さ	
49.5m(P1桁下~底部)	

【共同発行元】国土交通省近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所  
福井県土木部河川課 ダム建設管理・足羽川ダム対策グループ

【お問い合わせ先】〒918-8239 福井市成和1-2111 ポラリスビル TEL (0776) 27-0642(代) FAX (0776) 27-0643  
<https://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/> (足羽川ダム計画は、ホームページでもご紹介しています。)